

## 幕末の情報収集担当「探索方」

福井藩の忍者(忍之者)は、1866年(慶応2)11月に廃止されますが、その前後から、短期間ですがそれまでの忍者の重要な業務であった諜報活動を担ったのが「探索方」でした。府中本多家の家臣・関竜二の探索記録は、「風説書」「長防機密書」などとして松平文庫に残されています。

また王政復古によって、新政府が成立すると、福井藩出身の参与(中根雪江・毛受洪・由利公正ら)に附属するかたちで探索方が置かれました。その後は戊辰戦争時の戦地での情報収集、脱走者や犯人の捜査にも一時的に「探索」業務が命じられています。

参考文献 長野栄俊「福井藩の忍者に関する基礎的研究」『忍者研究』1、2018年8月

氏名	出典	関連業務等	修行先・職歴等	叢書巻	叢書頁
関竜二 (山本竜次郎)	陪臣	[1864 元治1.10]探索方御雇 [1865 慶応1.01]探索方御雇(-3.6)	(昌平坂学問所)	—	—
矢嶋平格	士族	[1865 元治2.01]探索方(-3.6探索方廃止) 御用透之節ハ学問所江罷出、篠原貫一郎、後藤鉄太郎、山本竜次郎申談学生之者致世話候様被仰付候	江戸表へ学問修行	14	179
市村与八郎	剥札	[1865 元治2.01]探索方(-3.6探索方廃止)	江戸表へ長剣修行	09	128
林松蔵	士族	[1867 慶応3.12]探索方并参与附属	太田陣屋御雇詰	13	39
松山喜勢太	士族	[1867 慶応3.12]探索方并参与附属	団野(柔術)免状席二而出精	13	300
山野濯二	士族	[1867 慶応3.12]探索方并参与附属	坂上(弓術)寒稽古出精	14	171
中野哲之助	士族	[1867 慶応3.12]十一月廿六日宰相様御滞京中為御備上京被仰付、同廿九日出立、十二月十七日探索方并参与附属被仰付	芝陣屋詰御番士御雇 山階宮附人	12	246
大谷巖	士族	[1867 慶応3.12]探索方并参与附属	堺町戦争一件配当金下賜	10	19
団野確爾	子弟輩	[1867 慶応3.12]探索方并参与附属	(団野家は柔術師役)	—	—
根来久良人	士族	[1867 慶応3.12]探索方并参与附属 [1868 慶応4.6]会征出立、但出張中仙台辺探索為御用罷越、十月十六日若松江帰	春嶽附近習・小姓	12	299
青木咸一	士族	[1868 慶応4.04]閏四月四日中根新左衛門義、松平日向守様(松平茂昭)榊原式部大輔殿(越後高田藩主、榊原政敬)江為御使者被遣候二付附添被仰付、為探索居残	堺町戦争一件配当金下賜	09	77
長谷川清作	新番格以下	[1868 慶応4.05]探索御用二而越後高田江出立、追々奥州若松江御人数相進候二付十二月朔日若松の帰		—	—
井原立二	士族	[1868 慶応4.07]越後高田表へ早駆出立、夫よ仙台辺探索為御用罷越、十月十六日若松江帰着、同十七日江戸表探索為御用酒井孫四郎方同道罷越候様被仰付、同十八日若松表出立、江戸表江罷越、御屋鋪神々守護二而十一月十四日御国江帰	江戸表洋学・漢学修行、軍艦操練・航海術修行 堺町戦争一件配当金下賜 兵学取調(赤松小三郎)	09	153
岩屋鉢五郎	新番格以下	[1870 明治3]但元武生士族松本酒人蝦夷地江脱走為召捕 横浜の出帆箱館江着、彼地探索無滞召捕再同港江着船東京江出十一月五日帰		—	—
松永亮	新番格以下 増補雑輩	[1870 明治3]但元武生士族松本恒人蝦夷地へ脱走為召捕横浜の出帆箱館へ着、彼地探索無滞召取捕再同港江着船、東京へ出十一月五日帰		—	—
円乗素	士族	[1871 明治4.10]解隊之处東京府御用二而居残り、東京府探索方	横山(剣道)試合皆勤	09	279
高橋定吉	新番格以下 増補雑輩	[1871 明治4.04]今度楮幣偽造之者探索方行届候二付金式千疋被下候事		—	—